

乗り越えなければならない今

片桐英数塾通信

強い気持ちで前に進め!

まとわりつくような暑さの中、時折体をすり抜ける涼しい風に、なぜだか生きている喜びを感じてしまうのは私だけでしょうか。もう8月ですね。8月になるとよく卒業生が帰省ついでに塾に顔を出してくれます。ちよつと成長した卒業生と久しぶりに会うと、いろんな話をするのですが、当然のように話に出てくるのは「就職」の話です。今は「就職」するのがとても難しい時代です。内定をもらうというのとはとてもとても難しいことで、卒業生と話していてもその厳しさに驚かされるのがあります。

とされているんだという記事を読み、その記事の中で「これにより優秀な外国人留学生を呼び込める」という下りが大概書かれていたのですが、それが何ともしやうりません。そうしなければやっていけないのかもしれないのですが、それにしても……です。

学生達が就職を目指し必死になっている姿に胸を打たれる一方で、たまに新聞などで目にする記事に、正直なところガツクリくるのがありません。国内の人員を大幅にリストラし、海外に生産拠点を移す、とか、外国人の採用枠を増やすとか……。

昨今の企業の動きがあまりに露骨に感じられ、いろいろと考え込んでしまっています。企業の求める人材も変わってきているように思います。10年……いやもうちよつと前でしょうか。その頃、企業が求めていた人材は、未完成ながらも「地頭」の強い人間で、可能性ある若者を企業が育て上げ、という感じだったように思います。しかし、今は企業に人を育てる余裕が無いのでしよう。こぞ「即戦力」を求めているようです。また、「即戦力」ならば国籍にこだわらないよう、それも何だかなあ……、というのが私の本音なのですが、私の考えはこのグローバル時代においては甘いのでしょうか。

これは企業だけに限らず、大学も同じような感じですが、優秀な外国人の留学生をいかに取り込むかをとっても重要視しているようです。秋入学にしてもそうでしょうし、そのように大学が国際基準に合わせるように……。

そのような厳しい世界が近い未来、今の中学生や高校生に目の前にも広がることになりそうです。恐らく、これからの子どもにその厳しい世界を乗り切る力を付けさせようと、最近、様々な教科が見直されたのだと思います。中学生の新しい英語の教科書も語彙が増えました。それと、メッセージ性も強くなったように……。

今年の3月に、ある教育業界の方と教科書の語彙が増えたことをどう考えるかについてお話をしておりました。「語彙が増え内容的にも深みを増した新しい教科書を十分に指導しようとするなら、普通に考えて今までよりも時間をかける必要がある。しかし、指導の時間は変わらない。変わらない時間のなかでじっくりと指導しなければならぬ」となると、生徒達も今まで以上に頑張らなければならぬことになる。ガツツのある子は問題無くついて来れるだろうが、ガツツがなければ振り落とされるかもしれない……。

ちよつとこの話をした数日後にある卒業生が顔を出してくれました。その子と話していて、ふとこの話を思い出して、「教科書が新しくなり、これまでのものが随分と見直された。」「などと話しておりました。」「彼の口調は穏やかでしたが、表情は明らかに不満そうだったように思います。」「自分は好きでゆとり教育というものを受けたのではありません。大人が勝手に決めてやらせたことだ。」「という思いもかけない反応に驚いたと同時に、お恥ずかしながら、その時になり初めて、この世代の持つ潜在的な怒りに似た感情に気がつきました。」「何で不景気なんや。」「とか「何でこんな時代に生まれたんや。」「と、言

います。しかし、たとえそうであつても否応無く厳しい世界へ出ていかなくてはなりません。今はとにかくその世界を乗り切る力を身に付けなければなりません。その力は、基本的な学習の仕方を習慣づけることに始まると思います。中学生ならば、とにかく復習を徹底する。覚えるべきを面倒がらずに覚える。覚えるためには、書いて覚え、声に出して覚え、とにかく体を使って徹底的に覚えることを覚える。根気良く、何度も何度も覚え込んでいくことを覚える。そして、頭を捻るような問題を見ても、「無理だ」と早々に諦めたりせず、間違えることを恐れずに、頭で汗をかくくらい一生懸命に頭を捻ることを覚える。そうやって徹底的に頭の耐性を鍛え上げる。これらは学習の基本だと考えております。しかし、この基本というものは随分と面倒くさく感じたりするものらしく、やはりウケはよくありません。しかし、本当の力は面白さの無い、鍛錬により磨かれるものだと思えます。

高校生は強い自分を確立することが大切だと思えます。知識や考え方を身に付けるに従って、思考が広く深くなるにつれ、様々な経験を積み重ね、今までの自分ではとても乗り切れない。だから今、本当の力を付けよう、強い自分を手にしようとしておかなければなりません。どんな世界が広がろうと気持ちでは負けてはいけません。「負けるもんか!」という強い気持ちが大切です。

世代間の格差。新聞などでよく見かける言葉です。この大きな問題は、これから世に出ていく若い世代にあまりに負担や軋轢が押し掛かり、若い世代が動きたくても動けず、過度の焦りや不安を抱えていることだと私は思います。一つの世も若者が力強く行動して、社会に活力が漲りました。し、世の中を潤しました。若者も力強く行動する事で、多くのことを学び様々な経験を積み、上の世代を支え、下の世代を育て、それで文化的な継続性も育まれてきたと思います。しかし、今はそうしたくともそれが思うように出来ないジレンマがある。そのジレンマの存在を全ての世代が理解し、協力して乗り越えようとしなければ、恐らく、20年後、30年後の未来は、社会的な幸福度の低い、殺伐としたものとなりそうに思えます。

たぶん、まだまだこれらの世代に私の知らない潜在的な感情はあるのだと思

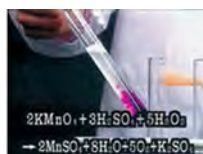
体験受講受付中

「河合サテライト講座」で夏伸ばす!

河合サテライト講座は、わかりやすさ、理解度バツグンの授業に映像を活用! だから、本質的な理解、身に付きやすさが違うのです!

- ・サテライト講座のおかげで苦手教科が得意教科になりました。いくら感謝しても感謝しきれません。(T.Sくん)
- ・高2の時からこつこつ受講しました。分からないところは、映像を止めて考えたり繰り返し見るようにしました。(R.Iさん)
- ・グラフィックスなどを用いて説明してくれるのでとても理解しやすいです。個性的でおもしろい先生が多いので、ちよつとした気分転換にもなりました。再生速度をちよつと上げて受けていました。(K.Tくん)
- ・どの授業もすごく丁寧な説明で、基礎をしっかりと固めるのに役立った。私立対策も十分に出来ました。(A.Sさん)
- ・速さを変えたり巻き戻しできたりして、自分のペースでできるので、すごく役立っていました。講師の人も面白いので何度見ても飽きなかったです。(M.Oさん)

合格体験談より抜粋したサテライト講座の感想です。



坂本教室からのお知らせ

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

*坂本教室の8月の休日は、

5日(日) 12日(日) 13日(月) 14日(火)
15日(水) 19日(日) 26日(日)です。

HPアドレス <http://www.katagirijuku.com>

メールアドレス katagirijuku@docomo.ne.jp

